

FreeR-rail

住宅用屋外手すり フリーRレール

施工要領書

 R A アルミエンドキャップ (BJ-115ST)
(BJ-116DB)

このたびは当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございます。

ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
お読みになった後もすぐ取出せる場所に大切に保管してください。

【施工業者様へ】

施工後は、お客様に必ず本書をお渡しください。

【お客様へ】

この説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
不適切な使用により事故が発生した場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
転居される場合、次に入居される方にこの説明書をお渡しください。

安全上のご注意

施工前に本書をよくお読みの上、正しく施工してください。また、ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号、絵表記の説明



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。



△ 記号は、注意(警告を含む)を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容が描かれています。



⊘ 記号は、禁止の行為(してはいけないこと)を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容が描かれています。



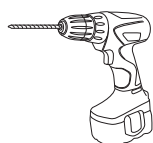
● 記号は、行為を強制すること(必ずすること)を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容が描かれています。



ポイント

この表示は施工のポイントを示しています。これを行うことで施工し易くなります。

施工に必要な工具



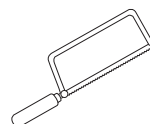
電動ドリル



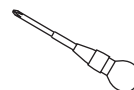
電動ドライバー



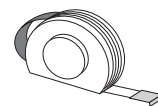
ドリルビット
(φ3.3mm)



金ノコ



プラスドライバー



コンベックス

フリーRレールR A アルミエンドキャップは、手すり端部に取付ける部材です。
安全に使用して頂けるよう、またトラブルの無い確実な取付けをして頂くためにも、
施工の際によくお読み頂き以下の事を必ずお守りください。

施工上のご注意

- 当製品は屋外用です。
- フリーRレール曲がる手すり棒(BJ-14WD、13WD、02WN、01WN、、45PC、44PC)、直棒手すり(BJ-19WN、20WN、21WD、22WD、46PC、47PC) φ34専用です。
- 手すり端部の持ち出し長さは150mm以下にしてください。
- 曲がる手すり棒に使用する場合は必ず錆び止めローバルが別途必要です。

■フリーRレールR Aアルミエンドキャップ[BJ-115ST、BJ-116DB]梱包部品図

※施工手順についてはP.3「施工手順」をご覧ください。

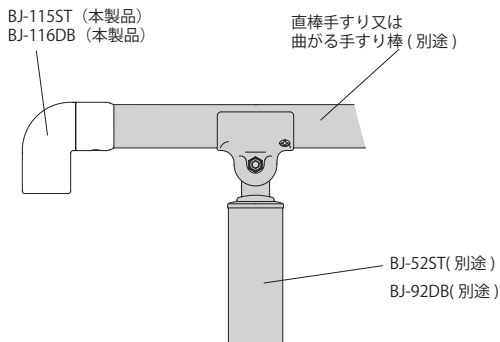
1-1	アルミエンドキャップ 手すり側	2	手すり取付けねじ	3	防水パッキン
1-2	アルミエンドキャップ 先端側				
1-3	⊕なべ小ねじM5×16				
1-4	φ5用ばね座金				
1-5	木口カバー				

■フリーRレールR Aアルミエンドキャップ[BJ-115ST、BJ-116DB]梱包部品図

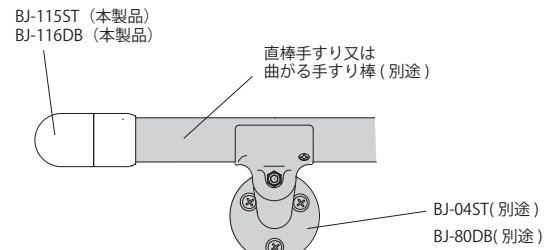
番号	部品名	仕様	数量
1-1	アルミエンドキャップ 手すり側	アルミ合金 アクリル系樹脂焼付け塗装	1個
1-2	アルミエンドキャップ 先端側	アルミ合金 アクリル系樹脂焼付け塗装	1個
1-3	⊕なべ小ねじM5×16	ステンレス製	1本
1-4	φ5用ばね座金	ステンレス製	1枚
1-5	木口カバー(アルミエンドキャップに取付け済)	A S A製	1個
2	手すり取付けねじ ⊕丸皿タッピンねじ4×20	ステンレス製	1本
3	防水パッキン	P E樹脂	1個

■フリーRレールR Aアルミエンドキャップ[BJ-115ST、BJ-116DB]取付参考図

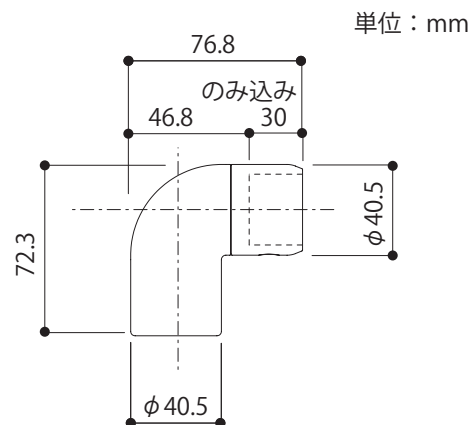
<先端が下向きの場合>



<先端が横向きの場合>



■フリーRレールR Aアルミエンドキャップ[BJ-115ST、BJ-116DB]外観図

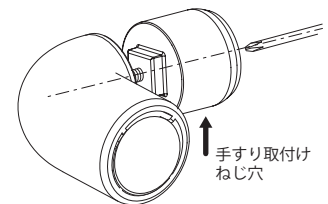
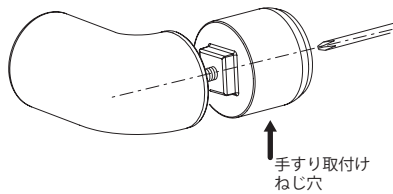
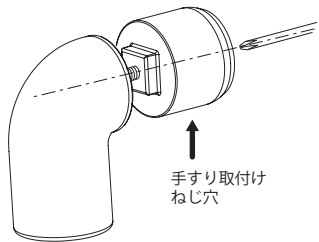
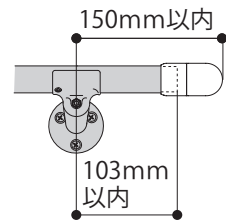
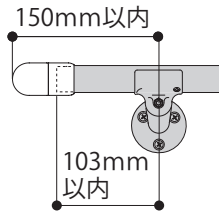
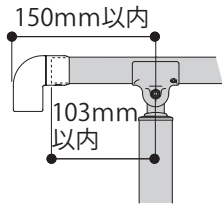


施工手順

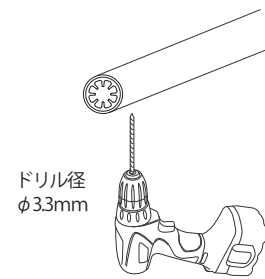
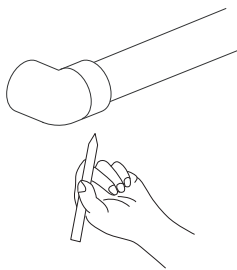
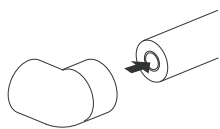
1. R Aエンドキャップ先端側がはずれない程度になべ小ねじを緩め、手すり取付けねじ穴が下側になるようにR Aアルミエンドキャップ先端側を動かした後、なべ小ねじをしっかりと固定する。

<先端が下向きの場合>

<先端が横向きの場合>



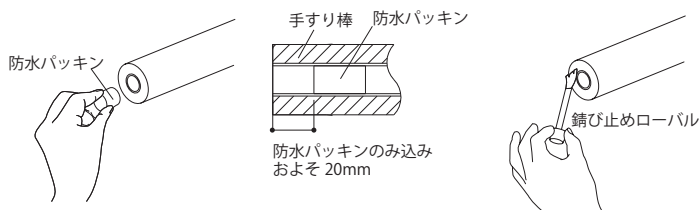
2. R Aアルミエンドキャップを手すり棒に差し込み、手すり取付けねじ穴位置にけがいた後、 $\phi 3.3\text{mm}$ の下穴をあける。



【曲がる手すり棒を使用する場合】

手すり棒端部芯材に防水パッキンを挿入し、手すり棒木口部に錆び止めローバル(別売)を塗布します。

直棒手すりには防水パッキンと錆び止めローバルは不要です。



直棒手すりとの固定の場合



防水パッキン、錆び止めローバル(別売)は不要です。
○図のように取付けねじは、リブを避けた位置で固定を行うと施工しやすくなります。



3. ⊕丸皿タッピンねじ4×20で固定する。

